

第17回

芳賀町観光写真コンテスト結果発表

1月22日に役場で審査会が行われ、応募作品118点の中から、最優秀賞1点、特選2点、準特選5点、入選などが選ばれました。そして2月3日から16日まで道の駅はがで写真展が開催され、これらの作品が展示されました。入賞した全作品については、町ホームページをご覧ください。

※入賞作品は、芳賀町の観光PRなどに利用させていただきます。

[敬称略]

図商工観光課商工観光係 【☎028(677)1115】

最優秀賞

「家族で見物」北崎英信 (真岡市)



講評 バルーンの大きさと、見物する家族の雰囲気がよく出ている。光の表現が良い作品。

準特選

「朝陽の輝き」古谷倅一 (芳賀町)



講評 輝く光の美しさと、雪景色の感じがよく出ている。手前に雪を入れたことで、遠近感がうまく出ている。

準特選

「鎮守の祭り」金子秀夫 (芳賀町)



講評 祭りを見ている年齢の違う夫婦が、同じように安全祈願をしていると感じられる構図が良い。

準特選

「大きな一れ」岡野義美 (芳賀町)



講評 夜の感じがよく出ている。親子が見ているところが良い。シルエットがはっきりしている。

講評：審査会委員長 大手義雄氏 (栃木県写真家協会理事)

祖母井周辺の街並みは、一昨年12月に開通した県道宇都宮茂木線芳賀バイパス整備をきっかけに大きく変化しました(写真①、表紙写真上・下)。

芳賀町のまちづくりは、昭和45年の首都圏整備法に基づく地域指定から始まり、都市計画法に基づく市街化区域と市街化調整区域に区分が決定したのは昭和49年のことです。工業専用地域の整備を進めたのち、町は、都市基盤の整った良好な居住環境を有する新たな芳賀町らしい住宅地の創出を図るため、平成13年に町施行による祖母井南部土地画整理事業の認可を受けて、工事に着手しました(写真②・③)。そして、多くの方々の協力のもと平成24年に工事を完了し、今年2月に換地処分を行い「祖母井南一・二・三丁目」という新しい住所が誕生しました(写真④)。

町は、芳賀町ならではの田園風景と調和した景観を大切に、住む人々が心豊かになれるようまちづくりに取り組んでいます。



▲宅地が造成された「薬師の郷」(平成17年)



▲「祖母井南」という住所になった薬師の郷周辺(平成26年)



▲旧役場周辺の様子(昭和49年)



▲祖母井南部土地画整理事業 工事安全祈願式(平成15年)

anniversary
60th
芳賀町町制施行60周年

あの時・この時
〜居住環境の創出〜

芳賀町町制施行60周年記念特集



▲ふれあいタクシーひばり



▲祖母井市街地を走る真岡行きの路線バス(昭和62年)



▲路線バスが走るかつての祖母井中央通り(昭和12年)

芳賀町の公共交通は、路線バスと町が運営する乗合いの「ふれあいタクシーひばり」(写真①)です。かつては町中を路線バスが数多く多方面に走っていました(写真②・③)。少子化やマイカー普及により公共交通を利用する人が減少した現在、町はバス路線維持や利用者増加を図る施策を行っています。高齢化が進む今後、ますます公共交通の存在が重要になると考えられます。公共交通の存在が重要になると、私たち住民の意識の変革にかかっていると考えるでしょう。また、町は新たな基幹交通としてLRT(次世代型路面電車システム)の整備にも取り組んでいます。

住みやすい町に欠かせない公共交通